

本科1期確認テスト講評(中2生)

●英語●

・中2選抜東大英語(2EJSS)

今回のテストでは、重要な文法事項そのものの理解度を問う問題はもちろん、学んだ知識を応用して答える問題を多く出題しています。1年生のときからのギャップに戸惑った人も多いかもしれませんね。全体を通して時間をかけ、丁寧に復習をしましょう。

特に不定詞は、今後の学習においてキーとなる単元ですので、できなかった問題は復習が必須です。

【5】の和文英訳は、学んだ表現知識を頭の中に定着させ、適切に活用できるかどうか得点に直結しますが、例年でも非常に高い平均点になっていました。これは、皆さんがしっかり復習をしたことの証左だと思います。この調子で学習を続けていきましょう。

今後は【6】【7】のような読解問題に挑戦する機会が増えていきます。テストで全問正解できなくても構いませんが、必ず復習して、疑問を残さないようにしましょう。復習の際には、読解の題材を何度も音読をするとよいでしょう。英語の文章だけで内容が理解できるようになるまで繰り返し読むことで、文の切れ目を意識することができるようになり、速読にもつながります。

・中2英語(2EJS)

中学2年生での学習事項は、中学1年生のときに比べ、かなりハイレベルなものになっています。助動詞、不定詞、時制の一致と、これからの学習で重要になる単元が多く含まれているので、できなかった問題はもちろん、全体を通して丁寧に復習をしましょう。

【1】の文法問題は比較的基礎的な内容でしたが、思うように得点できなかった人もいたかもしれません。重要表現ばかりを出題していますので、間違ったところはこの機会に必ず確認し、次回は正解できるようにしっかりと復習をしましょう。復習の際は、ただ答え合わせをするのではなく、自分で文章を組み立てる練習をしてみましょう。例えば、[A](1)を「あの車は買いたくないです」と言い換えるなら、どう表現するのが良いでしょうか。表現する方法はいくつもあります。ぜひ考えてみてください。

【2】の[B]の英作文問題については難しく感じた方も多かったかと思います。テストでは全問正解できなくても構いませんが、復習に力を入れましょう。

まずは不定詞や接続詞を用いて1文の情報量を増やすことに慣れることから始めて、繰り返し英作文を解き直すことでテストに出てきた表現を使いこなせるレベルまで高めることが目標です。

●数学●

・中2選抜東大・医学部数学(2MJSS)

今回のテストでは、図形の総合問題と場合の数を扱いました。図形分野は中学幾何全体の振り返りであり、場合の数は高校の数学Aの範囲に当たります。

【1】は場合の数の小問集合でした。(8)以外は順列・組み合わせの基本問題でしたが、6割ほどの得点率にとどまった人が多かったです。復習の際は、ミスの原因を必ず明らかにしましょう。

【2】は相似の問題でした。(1)(3)は中学受験でもよく見る典型問題で、出来はよかったです。一方で(2)(4)は誤答が目立ちました。(2)は角の二等分線の定理、(4)は重心の性質を相似や三平方の定理と組み合わせる問題です。新たに出てきた定理や性質は覚えましょう。

【3】は空間図形の問題でした。(3)の内接球の半径を求める場合、元の正四面体に戻って考えればよいと気がつかなかったようです。正八面体を正四面体の各辺の中点を結ぶ立体と捉える見方は東大でも出題されている大切な見方です。よく復習しましょう。

【4】は2乗に比例する関数と図形の融合問題でした。この手の問題は、「図形の条件をいかに数式の条件に言い換えるか」が肝要です。出来なかった人は、まだ「数式」と「図形」の対応関係の理解が不十分だと思われます。授業で扱った補充問題も含め復習しましょう。また、簡単な因数分解を間違えている答案も目立ちました。もったいないです。

【5】は円の性質についての応用問題でした。(1)は過程を書いていない答案が多かったです。結論が明らかでも過程を書くクセを付けましょう。出来なかった人は円周角の定理、円に内接する四角形の条件といった重要な定理の使い方をしっかり復習してください。(4)は難しかったと思いますが、「問題中に図が与えられない」パターンが今後は主流になるので、今のうちに「できるだけ正しく図を描く」練習を積みましょう。

全体としては、授業内容に対する理解の差が大きく現れた試験でした。成績が振るわなかった人は日頃の姿勢を見直し、授業の復習をしっかりとるようにしましょう。

・中2数学(2MJS)

【1】【2】は展開・因数分解の問題です。基本的な問題ばかりですので、間違ったところはしっかりと「なぜ、間違えたのか」を押さえ、満点が取れるようにしておきたいところです。

【3】は直線の式に関する問題でした。全体的によくできていましたが、(4)の垂直の関係でやや差がついたようです。計算ミスも目立つので注意してください。

【4】は条件の読み替えがポイントでした。「なぜ、そう考えるのか」をしっかりと確認しておきましょう。

【5】は文章を正しく式に置き換える力が試されました。考え方はよく理解されていましたが、(2)での計算ミスがかなり多かったのも、最後まで気を抜かず取り組みましょう。

【6】は関数の応用問題でしたが、大きく差がつかしました。複数の分野の考え方をうまく使い分けることがポイントになりますので、できていなかったところは確実に考え方と「なぜ、そうするとうまくいくのか」を確認しておいてください。

【7】では、(3)がかなり難しかったようです。どの文字に着目して、(1)(2)の結果をどのように援用するか、解説を丁寧に読んで理解しておきましょう。

新しいことを学ぶと、当然これまで学んだ分野との融合・発展ができるようになり、問題は難しくなりますが考え方に幅が生まれます。これまで学習済みのところもあわせて、気を抜かず復習を進めましょう。